

▼ 5月19日
松前の名所と防災を学ぶ1日



松前町レクリエーション協会は、全国一斉「あそびの日」に合わせ「松前・え〜とこカルタめぐり」を開催しました。この日はあいにくの雨模様にもかかわらず、約180人が参加。カッパを着て、義農公園や妙寛寺などの松前の名所をはじめ、災害時の避難所など計8カ所を巡りました。その後も消防士から応急処置の方法を学ぶなど、松前の名所に親しみ、防災について考える1日となりました。

▼ 5月16日
お兄ちゃん、お姉ちゃんありがとう



小富士保育所の園児は、「保育と発達」を専攻している伊予高校3年生と園庭で遊びました。園児たちは、お兄ちゃん、お姉ちゃんがたくさん来てくれたので大はしゃぎ。おんぶしてもらったり、一緒にすべり台を滑ったりして、楽しい時間を過ごしていました。そしてお別れの時は、お兄ちゃんお姉ちゃんと笑顔で「またね」とハイタッチ。名残惜しそうに、門を出るまで手を振り続けていました。

▼ 5月12日
101回目の徳丸「尚齒会」



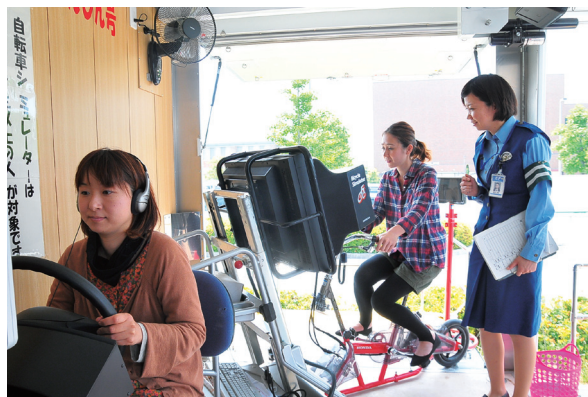
徳丸地区の「尚齒会」は、徳丸老人憩いの家で行われました。尚齒会とは、高齢者を敬う(敬老)会のこと、徳丸地区では大正2年に始められ、今年で101回を迎えました。参加者は、婦人部手づくりの料理を囲んでの会食、余興や友人のおしゃべりを楽しんでいました。また、最後は全員で「ふるさと」を合唱。温かな空気に包まれて会は締めくくられました。

▼ 5月2日
こいのぼり集会



宗意原保育所のこいのぼり集会は、5月の爽やかな青空のもと、園庭で行われました。まず小さなクラスの園児たちに、保育所のお兄ちゃんお姉ちゃんから風車のプレゼントがあり、受け取った園児はうれしそうに風に乗せて回していました。その後園児たちは、気持ちよく空を泳ぐこいのぼりの下で、玉入れをしたり、かけっこをしたりして、元気いっぱい楽しんでいました。

▼ 5月21日
子どもの事故抑止策学ぶ



松前町交通安全母の会総会は、役場庁舎で開かれ、各校区の母の会代表ら約30人が出席しました。会では、伊予警察署の武村彰剛交通課長が「子どもを交通事故から守るために」と題して講話。県警本部の交通安全教育車を使った実習も行われ、参加者は、子どもたちが被害者にも加害者にもならないまちにしようと、交通事故抑止へ向け決意を新たにしていました。

▼ 5月18日
新鮮な魚プレゼント



松前遊漁船組合(三好一榮代表)は、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと、和楽園と鶴寿荘にヤズやホゴ、メバルなどを贈りました。贈られたのは、当日の朝に組合員が松山沖で釣ったばかりの新鮮な魚。入所者の皆さんは、その種類と数の多さに大喜び。魚は刺し身や煮付けなどにして、みんなでおいしく食べました。

▼ 5月15日
大きく育てて帰ってきてね



重信川漁業協同組合(本多義雄代表理事組合長)は、重信川流域をはじめ、中川原のひよこたん池など計14カ所でアユの稚魚約7万5000匹を放流しました。この日放たれたアユは体長約10センチの稚アユで、毎年この時期に放流されています。アユの稚魚たちは、放流されると同時に勢いよく泳ぎ出し、群れを作りながら広い川へと消えていきました。

▼ 5月3日
今年も大盛況 松前港まつり



松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前港まつり」は、瀧姫神社周辺で開催されました。会場では、漁船パレード、鮮魚・鯛めしの販売やマグロの解体ショーなどが行われ、大勢の家族連れが訪れました。また、魚のつかみどりも行われ、参加した子どもたちは歓声を上げながら、タイヤハマチなどを元気に追いかけていました。